

平成22年度成人式

**開催日** 平成22年8月15日(日)  
午後2時30分～  
**場所** 北秋田市文化会館  
**対象者** 平成元年4月2日から平成2年  
4月1日までに生まれた市内  
中学校卒業者及び市内在住者  
＊個別に通知を差し上げていますが、該  
当する方で通知が届いていない場合な  
どは7月30日までにご連絡ください。

◎問合せ 生涯学習課生涯学習班  
☎62-1130

**申込期限** 7月12日(月)  
**持ち物** ゴム手袋、米のとぎ汁  
空の牛乳パック1つ  
**定員** 10人(先着順)  
**材料代** 500円  
**講師** 佐藤 正 さん  
**場所** 阿仁公民館  
**開催日時** 7月20日(火) 10時～12時

庭木の(夏期)剪定初心者講習  
EM石けんと米のとぎ汁  
発酵液づくり教室

**申込期限** 7月8日(木)  
**持ち物** 剪定ばさみ、剪定のこ、軍  
手(ゴム引き)、刈込ばさみ  
**定員** 15人(先着順)  
**講師** 佐々木 健悦 さん  
**場所** 阿仁公民館  
**開催日時** 7月16日(金) 10時～12時

阿仁公民館講座募集

◎申込み・問合せ  
阿仁公民館 ☎82-2220

合川公民館講座募集

◎申込み・問合せ  
合川公民館 ☎78-2114

筆ペン講座

手軽な筆ペンを使って、筆文字を学  
びます。  
**開催期間** 7月～12月 毎月第3木曜日  
**時間** 10時～12時  
**場所** 合川公民館  
**講師** 河井千代子 さん  
**募集人数** 15人(先着順)  
**持ち物** 筆ペン、筆記用具  
**申込期限** 7月14日(水)

北秋田市花だんコンクール

花いっぱい運動推進協議会  
北秋田市花いっぱい運動推進協  
議会では毎年「花だんコンクール」を開  
催しています。ご自慢の花だんをコ  
ンクールに出品してみませんか。共  
同で育成している団体、職場、地域、  
個人等、どなたでも参加できます。  
応募方法は、各公民館にある申込  
み用紙に必要事項を記入の上、写真  
を添えてお申込みください。  
申込みいただいた花だんを審査委員  
会で巡回審査し、市長賞・市議会議長賞・  
教育長賞など各賞を授与いたします。

◎お問い合わせ  
北秋田市花いっぱい運動推進協議会  
(中央公民館内) ☎62-1130  
◎申込み 各公民館へ  
8月10日(火)まで

学びの  
広場

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します  
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

手織り講座

～中央公民館定期講座～

中央公民館定期講座として「手織り」講座が開講に  
なりました。この講座は6月～2月まで毎月1回開催  
され、受講生13人はオリジナルの作品づくりに挑戦  
します。

講師に小川もと子先生をお迎えし、第1回目はまず  
織り機の組み立てから行いました。織り機は簡単に持  
ち運べるものですが、一つひとつの組み立てに苦戦し  
ながらそれぞれが自分の織り機を組み立てました。

次回から、実際に糸を通して作品づくりに取り組  
みますが、それぞれどんな作品を作り上げようか思  
いをふくらませていました。



◀織り機の組み立て作業から  
始まった手織り講座

大盛会！「ふるさと再発見」

～栄公民館定期講座～

栄地区は素晴らしい歴史と文化に恵まれ、貴重で  
優れた文化財・遺産がたくさん残っています。これら  
に触れることにより、ふるさとの良さを改めて認識し、  
大切に保存・継承しようというねらいで実施しました。

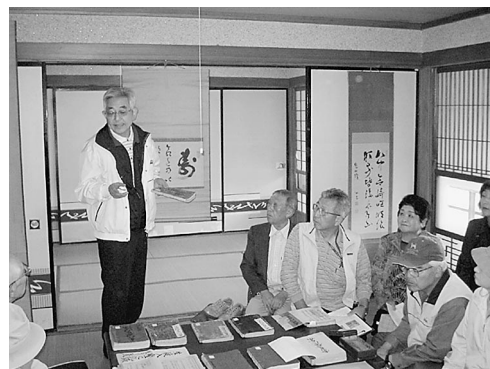
第1回目は、太田の旧家長谷川家を訪問し、13代当  
主佑司氏所蔵で市指定文化財「天保飢饉見聞実録」を  
はじめ、明治維新の功労者の貴重な掛軸などを閲覧し、  
70人の参加者からは「すごい！」という感嘆の声が聞  
かれました。

立派な庭園や古文書・道具類が収められている蔵  
も見学した人は「ぜひ一度入って見たかった」と、満

足そうでした。  
他に、墓地内の「子安地藏」「六地藏」なども見学し、  
地域の歴史や文化を再発見することができました。

次回は、摩当地区を予定しています。

問合せ 栄公民館(☎620744)



◀掛軸や古文書など貴重な資  
料の説明を受ける参加者

地域住民の交流と親睦

～七日市地区さなぶり運動会開かれる～

6月13日、第38回さなぶり運動会が、鷹巣南小学  
校グラウンドで開かれました。この運動会は地域住  
民の体力の向上、親睦と融和を目指す目的で行われ  
ているものです。

当日は快晴に恵まれ、田植えや農作業もひと段落  
した地域住民が一堂に会する機会となりました。プ  
ログラムは走る競技より遊競技を多く取り入れ、25  
集落を6色に分けて行いました。種目の中でも、二人  
三脚リレー、水ため競争、ちゃんぼんリレーなどは色  
別対抗とあって、大きな声援を受けながら懸命の走

りを繰り広げましたが、あわてて転倒する場面もあ  
り、その度に歓声が上がりました。

参加者は、競技を楽しみながら快適な汗を流し、  
喜びを分かち合い、交流を深めた一日になりました。



◀力を合わせた綱引き競技等  
地域の交流「さなぶり運動会」

ふるさとの文化財  
北秋田市指定有形文化財  
(歴史資料)  
○「宝篋印塔」4基  
◇所在地・三里字五輪岱53  
◇所有者・福岡昌樹  
地域では「五輪地藏」として親し  
まれている宝篋印塔は、三里地区大  
内沢集落の私有地の堂内に、大切に  
保護・安置されています。これは石  
で作られたお経の塔で、この中には  
「宝篋印陀羅尼経」が納められ、これ  
を拝むと生前の罪が消えて苦を免  
れ、長生きができると信じられてい  
ました。(お釈迦様の遺骨も入れら  
れていたとも言われています)正方  
形平面の塔の上に、段形の屋根を乗  
せて作られています。石質は、男鹿  
及び真山地域で産出される輝石安  
山岩で、男鹿で加工されて米代川を  
船で運んだものと推定されていま  
す。死者の墓碑等、死後の幸福を祈  
る供養塔として作られるようにな  
ったと思われます。  
県内では珍しくはなく、男鹿半島  
や湖東地域(八郎潟周辺)に集中的  
に多くみられるそうですが、米代川  
流域では、上小阿仁村五反沢に室町  
時代中～後期の宝篋印塔が3基と、  
三里の4基(室町中期)の計7基だ  
けといわれています。



▲「宝篋印塔」4基

宝篋印塔は、インドの阿育王が、  
仏教を盛んにし広めるため作り始  
めたとされていますが、我が国へは  
天徳1年(957年)天台宗の日延  
という僧侶が、中国の呉越という国  
から持ち帰ったのがはじまりとさ  
れています。  
秋田県で宝篋印塔が盛んに作ら  
れるようになったのは鎌倉時代の  
頃からです。三里の宝篋印塔は、鎌  
倉・室町時代の男鹿地方の豪族安東  
氏との関連説や、房住山修験僧供養  
説などがありますが、はっきりした  
ことは分かっていません。説明板は  
ありますが、入り口などの標柱が必  
要と思われるす。  
▽平成4年5月25日指定  
▽資料／合川町の文化財「北鹿は  
宝箱」、「合川地方史研究資料」、ほか  
▽紹介者／北秋田市文化財保護審  
議会委員 照内捷二